

専門研究A

インクルーシブ教育システムの構築に向けた
特別な支援を必要とする児童生徒への配慮
や特別な指導に関する研究

—具体的な配慮と運用に関する参考事例—

(平成23年度～24年度)

研究成果報告書

平成25年3月



独立行政法人
国立特別支援教育総合研究所

目 次

1	本研究の目的	1
2	研究の背景	1
3	研究方法	3
4	本研究報告書の活用にあたって	5
5	合理的配慮と基礎的環境整備の実際	7
	～小・中学校で学習している障害のある児童生徒の事例～	
(1)	視覚障害のある生徒の交流及び共同学習の事例（特別支援学級）	8
(2)	聴覚障害のある児童の事例	17
(3)	知的障害のある児童の交流及び共同学習の事例（特別支援学級）	25
(4)	知的障害を伴う自閉症のある児童生徒の交流及び共同学習の事例 （特別支援学級）（2事例）	35
(5)	肢体不自由のある児童生徒の交流及び共同学習の事例（特別支援学級） （2事例）	49
(6)	病弱・身体虚弱の児童の交流及び共同学習の事例（特別支援学級）	72
(7)	LDのある生徒の事例	78
(8)	ADHDのある児童の事例	90
(9)	高機能自閉症のある児童生徒の事例（2事例）	97
6	総合考察	111
1.	事例で挙げられた取組の整理	112
(1)	合理的配慮	
(2)	合理的配慮の基盤となる基礎的環境整備	
(3)	専門性の共有と継続	
2.	今後の研究に向けての議論と課題	117
(1)	小・中学校の教育に関する専門性の重要性の再認識	
(2)	学習のユニバーサルデザインと合理的配慮の関係	
(3)	知的障害がある場合の適切な合理的配慮	
(4)	アセスメント、学習評価、及び合理的配慮等に関するチェックリスト	
(5)	発達障害等のある児童生徒についての通級による指導の活用	
(6)	地域における支援システムと個別の教育支援計画の活用	
(7)	事例採択の基準となった合理的配慮の4観点	
7	研究組織	122

